



# 7月 あゆみキッズだより



(vol.194 文責：土屋)



ひと、くらし、みらいのために  
厚生労働省  
Ministry of Health, Labour and Welfare

## からマスクの着用について

保育園・認定こども園・幼稚園等の

### 就学前児について



★2歳未満

●マスクの着用は推奨しません。

★2歳以上就学前児

●マスクの着用を一律には求めていません。着用する場合は、保護者が体調に十分注意した上で着用しましょう。

▲ 夏場は、熱中症防止の観点からマスクが必要がない場面では、マスクは、外しましょう。

▲ マスクを着用しない場合であっても引き続き、感染対策をしましょう。

例年より早い梅雨明けで、本格的な夏の始まりです。こども達も大好きな、水遊びやプール遊びを思う存分楽しめる時期です。日ごとに暑さが増すので、汗をかいたらしっかりと水分補給をしましょう。今月は、夏に流行する病気（夏かぜ）についてと就学前児のマスク着用についてお知らせ致します。夏休みに入ると人の移動も活発になり、新型コロナの感染者も増える要因となるので、引き続き1人1人がしっかりと予防しましょう。



## 夏の感染症について

一般的に『夏かぜ』と言われる病気は、以下の3種類です。「ヘルパンギーナ」「手足口病」「咽頭結膜熱（プール熱）」。夏かぜを起こすウイルスは、高温多湿を好むタイプのウイルスで、アデノウイルスやエンテロウイルスなどが多いです。咳や鼻水は少なく肺炎などに進行することは少ないです。特徴としては、発疹・のどの痛み・高熱の症状が強く、胃腸症状がでるウイルスもあります。



### ～ヘルパンギーナ～

症状は、高熱とどの痛み。特にのどは水泡ができ、ただれる為、かなり痛みがあります。症状が落ち着き、飲食ができれば登園・登校可能。



### ～プール熱(咽頭結膜熱)～

4～5日程続く高熱とどの痛みの他、目の痛み・かゆみ・充血など結膜炎のような症状が出る。解熱後と症状消失し、2日経過してから登園・登校が可能。



### ～手足口病～

手のひらや足の裏、口の中に小さな発疹や水泡ができ、熱が出る事もある。症状が軽減してもウイルスの排出は1ヶ月程続くので、学校伝染病には指定していません。症状が落ち着いていれば登園・登校可能。